

中野区

エコシティ
なかのを
めざして

身近な
ところから
エコ
アクション!

「エコマーク」を集めて 「なかのエコポイント」を もらおう!

平成26年5月、環境に配慮した商品の購入を促進するため、「なかのエコポイント」に「環境商品コース」を新設しました。「エコマーク」*を集め、「エコマーク台帳」に50枚単位で貼り、合計で10枚（エコマーク500枚分）提出すると、中野区内で使用できる区内共通商品券、プリペイドカードへの交換や、中野区環境基金への寄付ができるポイント券（500円相当）を交付。さらに、1年度中にエコマークを100枚以上提出した場合、成績上位者へのエコポイント交付や、抽選でエコグッズの当選チャンスもあります。

*「エコマーク」とは環境への負荷が少ないよう配慮された製品やサービスにつけられる環境ラベルで、ノートや鉛筆、封筒などの文房具をはじめ、さまざまな商品につけられています。



生け垣や植樹帯設置の助成制度でみどりを守る

目にふれるみどりとして生活に潤いをもたらすだけでなく、避難路の確保や焼け止まり効果など防災面でも高い効果がある生け垣。中野区では、みどりを増やし安全で快適なまちづくりを進めるために、区民の方が道路に接した敷地の部分に生け垣・植樹帯を設置する場合、一定の条件を満たしたものについて、要した費用の一部を助成する制度を設けています。

生け垣の助成条件

「高さ1メートル以上の樹木が、長さ1メートルにつき3本以上植栽されていること」など

植樹帯の助成条件

「高さ30センチ以上の樹木で、葉がふれあう程度の間隔以上に植えられていること」など

助成金

助成金額は、生け垣、植樹帯設置1メートルにつき10,000円



群馬県みなかみ町の「中野の森」でカーボン・オフセット事業を開始

平成26年4月、中野区は、群馬県みなかみ町及び土地所有者と5年間の協定を締結し、みなかみ町にある牧場跡地に約15haの「中野の森」を設け、年間約6,000本の植林を行っていきます。この活動で得られる二酸化炭素の吸収量によって、カーボン・オフセットを行います。さらに「中野の森」とその周辺を環境交流のフィールドとして活用する「中野の森プロジェクト区域」とし、みなかみ町との観光交流・経済交流の実施に合わせた環境交流を推進します。



現地の看板



植林を行う牧場跡地